

ローマ、2012年7月10日（ZENIT.org）7月7日、土曜日に上海の補佐司教に叙階された馬達欽（Ma Daqin）司教は、直後に監禁され活動を禁じられた。

7月7日、上海の司教座聖堂は1200人近くの人であふれていた。しかし叙階式に何かが起こるのではとの不安が漂っていた。馬師が教皇の認可を受けて補佐司教として叙階されるといときに、祭壇の回りに集まった司教たちの中に教皇の許可なしに叙階された司教が一人いたのだ。新司教に接手するときには、ローマと繋がりのある司教だけが接手をした。司式者ア



ロイジオ金魯賢上海「公式」司教、ジョゼフ Hu Honggen 蘇州（江蘇省）司教とジョゼフ Shen Bin 海門（江蘇省）の司教が共同司式した。カテドラルにはこのほか三人の司教が列席したが、彼らは接手を控えて、司祭たちと並んで共同ミサをたてた。彼らは、ジョゼフ Cai Bingrui 廈門司教（福建省）、洗礼者聖ヨハネ Li Suguang 南昌司教（江西省）、そして唯一教皇の認可なしに司教叙階された寧徳（福建）司教のビンセント・詹思祿（Zhan Silu）司教である。

ミサには30人の司祭が参加したが、思祿司教の列席に抗議するため、上海教区の「公式」司祭86名のうち74人が欠席した。しかしながら、上海教区の30人ほどの司祭は儀式の始まる前にカテドラルの隣に位置する司教の礼拝堂に集まり、教皇による馬補佐司教任命勅書の朗読と馬司教の信仰告白に耳を傾けた。

司教叙階の秘跡が行われた後、馬司教は前代未聞の言葉を口にした。「私たちの母である聖なる教会が最近私に言われたことを思い出します。金司教をお助けするために司教叙階を受けたなら、あなたの全力をあげて司教の仕事に従事する必要があります。他の責任ある仕事を引き受けるのは恥ずかしいことでしょう」と言われました。そのため、この叙階の後私私が天主教愛国会に居続けることは相応しいことではありません」と発表し、出席者の熱い喝采と拍手を引き起こした。

こうして、馬司教は公に天主教愛国会の脱退宣言をした最初の「公式」司教となった。7月7日以前は、馬司教は同会の上海の副部長かつ全国レベルの常任委員会の委員を務めていた。2007年の春にベネディクト16世が、愛国会に入ることはカトリックの教えと両立しないと注意していた。

叙階式の説教の中で馬司教は、式に出席できなかった上海の司祭たちに言及した。「様々な個人的な理由によって、多くの司祭や修道者がこのミサに参加できませんでした。私は彼らに言いたい。彼らを愛しており、祈りの中で私たちは結ばれています」と。上海からの情報によると、この言葉は上海の聖職者たちに快く受け入れられた。

何度も馬司教は自分が上海の司教の補佐司教として叙階されたことを明言した。この言明は、教皇が師を補佐司教として任命したのに対し、北京は上海の協働司教と考えていることを考えると、重要な発言だ。上海の全カトリック信者にとって、馬司教が近いうちに金司教の後継者に任命されることは明らかであるが、同時に馬司教が自分を補佐司教であると強調することはローマに従おうとしていることも疑いない事実として写った。ローマによると、上海の司教は「地下教会」のジョゼフ范忠良司教（94歳。地下教会の司教で、健康が危ぶまれている）、その協働司教に金魯賢司教（写真、左）、そして補佐司教として馬司教である。



叙階式の翌日、7月8日、馬司教はカテドラルで予定されていた感謝のミサに現れなかった。そのミ

サを司式したジョゼフ Gu Zhangjuin 神父も会衆も馬司教の不在が心に重くのしかかっていた。

馬司教とは7月7日以来連絡が取れなくなった。8日午後、上海の数人の司祭が携帯電話によって「休息と黙想の時間を取る必要が生じた」との説明を受けた。「金司教と話し合った結果、私は余山 Sheshan の聖母の教会のそばにいます」ともあった。

上海の教会筋によると、馬司教の24時間の行方不明と感謝のミサの欠席の理由は、例の脱会宣言以外に考えられないと言う。7月7日、ミサに参加していた官憲は「険しい顔をしてカテドラルを立ち去った」という目撃情報があった。叙階式の後に伝統的に行われる祝賀会で、官憲のために用意された三つのテーブルには誰もいなかった。

当局が不満であることは明らかである。愛国会は今までまだ馬司教の叙階について何の発表もしていないことがそれを示す。叙階式は報道されるのが習慣で、7月6日のハルピン司教（教皇の許可なしに叙階）の叙階についても報道があった。中国のカトリックのサイトから、上海の司教叙階のニュースは削除され（中でもカテドラルで会衆が拍手をしている場面を流した画像）、検索をかけても司教としての任命のニュース以外は見つからない。当局はメディアの包囲を決めたようだ。この日曜日（8日）、Xinde（信仰）というサイトは「Xujiahui のカテドラルで司教として初めてミサを立てるはずの馬司教のために祈るよう」呼びかけた。そして、「たった今分かったことだが、司教は監禁状態で、司教の仕事が妨げられている」と付け加えた。月曜日、このサイトもつながらなくなった。

* * * * *

〔馬新司教の説教の抜粋〕

「皆様にご挨拶申し上げます。天におられる我らの父よ。今日この惨めな人間、弱い被造物である私をお選び下さったこの上ないお恵みに感謝いたします。

この恵みを神に感謝いたします。金司教様、この夏の暑さの中で（34度）私を叙階するためにおいで下さりありがとうございます。また Xu 司教様と Shen 司教様にも感謝いたします。・・・

また他の司教様たち、司祭の皆様、神学生と修道者の皆様、この教会を一杯にして下さった信者の皆様、特に遠方からお越しの皆様にご挨拶申し上げます。みなさんを見て、私は信頼で満たされ力が沸いてきました。みなさんは我々の教区とこの貧しく無力な奉仕者のためにいつもお祈りして下さい。小さいときから私は、両親と年配の人々から教会の伝統を習い、信仰を育ててもらいました。神学校に入ってから、私たちの先祖と先輩たちが大切にしてきた伝統的なカトリック教育を受けました。・・・

場所の不足やそのほかの理由で、出席できなかった司祭、修道者、神学生、信徒にみなさんに感謝することをお許し下さい。神は外見に目を向けられず、心をお読みになります。その心の中に正義が現れます。私はあなたがたを愛しています、互いに祈り合いましょう。〔出席者の激しい拍手〕

私の司教も紋章に載せた信条の最初のもは、金司教が神学生時代にいつも教えてくれたものです。それはロヨラの聖イグナシオのもので「神のより大なる栄光のために」です。まさに今、この場所で、神により大きな栄光を捧げる道を選ばねばなりません。二つ目は「我々是一つ」です。各自が心の中で「一つになるように」というイエスの使徒に対する呼びかけに答えてくれるものと期待します。私は自分の人生のすべてを一致のために費やすつもりです。

司教として私が使える母なる教会が教えるように、私は司教の奉仕職と福音の宣教に全存在を捧げる必要があります。ゆえに、これ以上他の仕事の責任を担うのは相応しくありません。叙階を受けた今より愛国会に属し続けることは私にとって望ましいことではありません。〔長い拍手〕。私たちが一つになれるように。神のより大なる栄光のために」